

こ  
ん  
に  
ち  
は

し も す わ  
町 議 会

で す



♡♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡♡

あなたの意見がこのまちを変える！…12p

議会だよりモニター制度スタート……13p

向陽高校生と大いに語る……15p

「君は何になりたいの？」伊東豊雄先生が中・高生と夢を語る！

# 12月定例会

12月定例会に上程された11議案と、最終日に追加上程された8議案、計19議案をすべて可決しました。

## 水道料金平均9.7%値上げ

### 県下一の安さは維持

水道事業の健全な経営基盤を構築し、将来にわたり安全な水道水を安定供給し、老朽施設の更新、設備の耐震改修などを計画的に進めるうえで、必要な財源を確保することを目的として水道料金が改定されます。

### 水道料金改定額 一般家庭（口径13mm）

使用料税込み2ヶ月分(円)

水道使用量	改定前	改定後	値上額
10立方メートル	1,263	1,367	104
20立方メートル	1,501	1,626	125
30立方メートル	2,332	2,544	212
40立方メートル	3,164	3,462	298
50立方メートル	4,276	4,693	417

料金の改定は、4月1日

以前から水道を継続して使用している家庭については6月1日以降の検針分から対象となります。公衆浴場は基本料金のみ値上げ。今回値上げをしても下諏訪町の水道料金は長野県内の市町村では一番安価。

討論では「町民の経済状況は厳しい」との反対討論。「設備は老朽化しており、耐震対策など改修は必要」との賛成討論がありました。採決の結果、賛成多数で原案通り可決されました。

### 民営化は考えない

また、今回国会で水道法が改正され民営化が可能となりましたが、議案質疑・一般質問の中で、「当町は、民営化

の意思はない」との町長の答弁がありました。

### 防災・減災まちづくり 条例制定



6区防災訓練

### 防災意識日本一を目指して

災害から生命、身体及び財産を守るため、当町は安心・安全のまちづくりを最重点課題として位置付けており、不測の事態に備え災害予防や減災対策等の施策

を着実に実施、継続するための条例が制定されました。

討論では「全国的にまさかの災害が起きている。防災意識日本一の町として、命と財産を守るため必要な条例」等の賛成討論があり、挙手全員で可決されました。

### 一般会計補正予算 八島湿原の木道改修

県の補助金を活用しての事業。H28年から実施していますが、木道のいたみがひどいため、資材などを購入し、雪解けに合わせて工事を予定。補正額409万円。



改修工事が進む八島湿原の木道

### ふるさと納税

150件880万円のふるさとまちづくり寄附金を賜り、今年度の累計は189件1418万円となりました。

### 医療費など増額補正

乳幼児等医療費給付金、障害者医療費給付金が、対象者の増加や入院の長期化などで、合わせて1700万円増額補正。また保育所の入所委託事業費は新たに制度に移行した保育所や幼稚園が増えたことから、815万円増額補正。

### 人事院勧告等による給与改定

追加議案として、人事院勧告や人事異動などに伴う職員、特別職等の給与改定。概ね賃金0.2%、勤勉手当0.05月引上げ。一般・特別会計合計で、400万円強の補正。

# 一目でわかる議決結果 12月定例会

## 議決結果

議案第74号	監査委員の選任について	同意(全員)
議案第75号	教育委員会委員の任命について	同意(全員)
議案第76号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
議案第77号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第9号) 平成30年度下諏訪町一般会計補正予算(第3号)	承認(全員)
議案第78号	平成30年度下諏訪町一般会計補正予算(第4号)	可決(全員)
議案第79号	下諏訪町防災・減災まちづくり条例の制定について	可決(全員)
議案第80号	下諏訪町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決(多数)
議案第81号	町道路線の認定について	可決(全員)
議案第82号	平成30年度下諏訪町一般会計補正予算(第5号)	可決(全員)
議案第83号	平成30年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第84号	平成30年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第85号	下諏訪町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第86号	下諏訪町特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第87号	下諏訪町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第88号	平成30年度下諏訪町一般会計補正予算(第6号)	可決(全員)
議案第89号	平成30年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決(全員)
議案第90号	平成30年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第91号	平成30年度下諏訪町温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第92号	平成30年度下諏訪町水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)

※主な議案の審査内容は、2Pをご覧ください。

## 陳情審査結果

平成30年陳情第5号	自動車での国道から町道へ左折による進入禁止解除を求める陳情	趣旨採択(多数)
平成30年陳情第6号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	採 択(多数)
平成30年陳情第7号	「『後期高齢者の医療費窓口負担の見直し』にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択について」の陳情	不採択(多数)
平成30年陳情第8号	種子の生産、供給に関する県の条例制定を求める陳情	採 択(全員)

## 意見書案議決結果

平成30年意見書案第6号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	可 決(多数)
平成30年意見書案第7号	種子の生産、供給に関する県の条例制定を求める意見書	可 決(全員)
平成30年意見書案第8号	「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書	否 決(少数)

※陳情・意見書の審査内容は、4～5Pをご覧ください。

# 12月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議員名(議席順) 議案番号等	議決等結果	林 元夫	岩 村 清 司	小 池 忠 弘	森 安 夫	青 木 利 子	中 村 奎 司	田 嶋 彰	金 井 敬 子	中 村 光 良	河 西 猛	藤 森 ス マ エ	宮 坂 徹
議案第80号	可決	斜線	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
陳情第5号	趣旨採択	斜線	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
陳情第6号	採択	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
陳情第7号	不採択	斜線	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
意見書案第6号	可決	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
意見書案第8号	否決	斜線	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×

可決・採択・趣旨採択に対する賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

## 陳情・意見書の審議結果

陳情第5号

陳情者 鮎澤 千文

### 自動車での国道から町道へ左折による進入禁止解除を求める陳情

現在、国道20号線を岡谷方面から諏訪方面に走行すると、富士見橋信号機を左折できません。「この事で、近隣住民・事業所が不便を感じているため、車両のすれ違いが十分可能な町道の拡幅を行う等対策を講じ、国道から町道への左折を可能にしてほしい」という陳情です。

審査した総務経済常任委員会では、現地を視察した上で陳情者から願意をお聞きした後、左折禁止が定められた経過や「交通安全上すぐに解除できない」旨の公安委員会の見解や、「河川法との関

係で町道拡幅は困難である」旨の説明を町建設水道課から受けました。

「一定の署名を集めての陳情であり、願意を尊重すべき」と採択の意見が2、「願意はわかる。区長会を通すなどのプロセスを踏んでいただいた方が実現性も高い」との趣旨採択の意見が2、「現在の道路で左折は交通渋滞に繋がる。解除すべきではない」との反対意見が1と割れ、委員長採決の結果「趣旨採択」となり、本会議においても賛成多数で「趣旨採択」となりました。

陳情第6号

陳情者 長野県医療組合連合会

### 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

医療や介護現場で人手不足は深刻な状態にあり、医師や看護師の過労死を引き起こす事態が続いています。国民誰もが安心して医療・介護を利用できるように負担軽減をはかること、医療従事者・介護職員的大幅増員・夜勤交替制労働における労働

環境の改善を、国に求める内容です。

陳情者から説明を受け審査した生活文教常任委員会では、「採択して意見書をあげていくべき」との討論があり全会一致で「採択」され、本会議においては賛成多数で「採択」されました。



陳情の採択を受け、生活文教常任委員会が提案。

意見書第6号

国へ

### 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

## 『後期高齢者の医療費窓口負担の見直し』にあたり

## 原則1割負担の継続を求める意見書採択について」の陳情

経済的な理由で必要な受診ができない高齢者が増えていますが、政府は「世代間の公平性や制度の持続性確保の観点から、後期高齢者の窓口負担のあり方について検討する」とし、医療費窓口負担を現行の原則1割を2割にする議論を始めています。年金収入も減るなか、後期高齢者の窓口負担の原則2割化は、治療が長期にわたりやすい高齢者の生活を圧迫し、必要な医療が受けられない事態の深刻化を招きかねません。この陳情は、国に対し、高齢者の実情に配慮し後期高齢者の窓口負担の原則1割負担の継続を求めて欲しいという内容です。

陳情者から説明を受け審査した生活文教常任委員会では、「下諏訪町も75歳以上の年金生活者が、年々増えており、貧困化で医療にかかれない人が増えて、受診抑制に繋がりがねない。採択すべき」との意見と、「国の医療費は増加しており、全体で医療費を賄わないと成り立たなくなる。大変なことだが、高齢者も負担の一端を担うべき。不採択」との意見が出され、挙手多数で「不採択」となりました。

本会議でも、賛成多数で「不採択」となりました。

## 種子の生産・供給に関する県の条例制定を求める陳情

主要農作物種子法は平成30年4月に廃止されましたが、優良な種子を生産農家へ安定的に供給していくことは大切なことです。これまで県は種子法に基づき、県内の気候や需要に合った品種を「奨励品種」に選び、品質を管理しながら優良な種子を育成、供給してきました。県は、これまでと同様の役割を果たすことを規定した基本要綱を定め既に4月から施行していますが、本陳情は県の役

割を明確にするための県独自の条例の制定を求める内容です。

陳情者から説明を受け、審査した総務経済常任委員会では、今年6月県議会に県が条例案を提出する準備を進めていることも確認したうえで、「その後押しとなるよう採択すべき」との意見が出され、全会一致で「採択」され、本会議においても、全会一致で「採択」されました。



陳情の採択を受け、総務経済常任委員会が提案。

意見書第7号 県へ

## 種子の生産・供給に関する県の条例制定を求める意見書

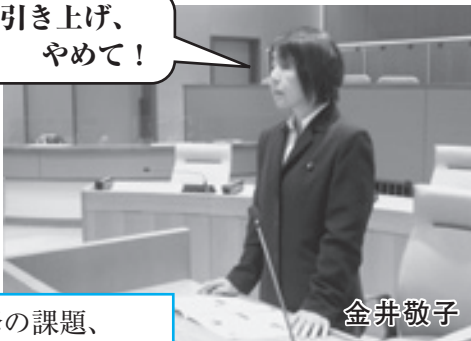
意見書案第8号

## 『後期高齢者の窓口負担の見直し』にあたり

## 原則1割負担の継続を求める意見書

陳情第7号の願意に沿って、国に対し、後期高齢者の窓口負担の原則1割負担の継続を求める内容で、議員提案された意見書です。賛成少数で「否決」されました。

Q 水道料金引き上げ、やめて!



金井敬子

A 喫緊の課題、ご理解を

Q 「子育て支援」としての減免は、法的に難しい。当町の「均等割」は低い水準であることにご理解を。  
A 一般会計からの繰り入れで、町独自に国保税を引き下げる手立てを。  
Q 法定外の繰り入れは、危機的状況において行う考え。基金の積み立てや国保税引き下げのためには行わない。  
A 福祉医療給付制度の、一レセプト当り500円の自己負担を廃止し、完全窓

簡易トイレ 来年度幹旋  
Q 減災対策として、感震ブレイカー設置についての町民への啓蒙や補助の検討を。  
A 周知を含め、対応を検討。  
Q 様々な災害を想定した訓練が必要。開催時期も一考を。  
A 各種災害を想定した訓練を実施を考える。来年2月に、避難所運営訓練を予定。災害時備蓄品として、

Q いじめに対する認識は



藤森スマエ

A 今、大きな問題事例はない

Q 編成中の来年度予算規模は



小池忠弘

A 本年度80億円を上回る予想

# 一般質問



12月定例会における一般質問は、単独質問に加え、グループによる代表質問を行います。単独質問は1人60分ですが、代表質問は2人までは120分、1人増えるごとに30分が加わります。

今定例会では「日本共産党」、「きらめくまち」が各々3人で150分ずつ代表質問を行い、5人が単独質問を行いました。

## 6-7P 日本共産党

「水道料金引き上げ、やめて!」

## 8-9P きらめくまち

「工業メッセで町事業所の出展状況は」

## 9P 宮坂 徹

「改良型のさすまたを配備する考えは」

## 10P 岩村 清司

「2市1町の合併の盛り上がりはどうか」

## 中村 奎司

「諏訪湖浄化の進め方とヒシの除去は」

## 11P 青木 利子

「第5次行政改革大綱の客観的評価は」

## 森 安夫

「オリパラ聖火リレー誘致を!」

水道料金値上げにより見込まれる収益は、町民負担増ほどの位か。

年間2000万円の増収を見込む。基本料一律8%、使用水量による単価は、9~11%の引き上げ率とし、使用水量の少ない部分の上げ幅を抑え生活弱者へ配慮した。4人の標準世帯(2ヶ月平均使用水量は、48m<sup>3</sup>)で、2ヶ月で9.7%、393円の増となるが、「県下一安い水」は維持できる。

値上げは避けてほしいが、

喫緊の課題であり、安定運営のためにご理解を。

### 町民負担の軽減を

高い国保税を、協会けんぽ並みに引き下げるために、「均等割」「平等割」をなくすべき。

なくせば、所得の多い方に負担がかかる。今の段階では難しい。

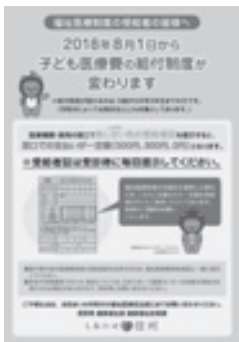
多子世帯の3人目以降の「均等割」をなくすことはできないか。

口無料化実施を。

福祉サービスの受益と負担の関係を明確にし、共に制度を支え合う一員であることを受給者に自覚してもらうことや、制度持続のためには、一レセプト500円の維持が適当。

福祉医療費の「現物給付」を、障がい者・ひとり親などの皆さんにも、広げてほしい。

導入すると、国の国保国庫負担金のペナルティが課されるので困難。



2018年8月から開始された子ども医療費「現物給付」

### 町独自の給付型奨学金

給付型奨学金制度の創設と、来年度の具体化は。

当町にあった制度を検討し、運用を開始する。

非常用簡易トイレの備蓄を啓蒙し、低所得世帯への補助なども検討してほしいが、



組み立て式の非常用簡易トイレ

より見やすく、得たい情報を素早く見られ、明るい町ホームページをめざすべき。

### ホームページ改善すべき



HPでキャラクターを活躍させたら？

2016年10月に更新。次回更新は2020年の予定だが、可能な範囲で改善する。

小中学校でのいじめは。

本年度4月~10月で、小学校10件、中学校5件で、丁寧に対応している。

町の「いじめ防止学校基本方針」の内容は。

全ての児童・生徒が安心、安全に生き生きとした学校生活を送れるように、マニュアル化。未然防止、早期発見、早期対応が基本。

2011年の大津の中学生のいじめによる自殺をきっかけに、いじめの定義が「受けた側が苦痛を感じれば、それはいじめ」となった。命に関わる事態を防ぐために、教育長の見解を。

子どもの声、声に出せない表情、言動を見逃さず、子どもをいじめから守っていききたい。

### 春宮周辺の整備を

春宮周辺の整備計画は。

駐車場の大型看板設置は、大社と協議したい。県道部分の美装化は県に要望中。春宮前の空き地は、鋭意地権者と交渉中。

住民要望に沿った予算編成を求める。来年度の主要施策と予算規模は。

来年度は、新艇庫の建設、防災行政無線更新、八島湿原トイレ改修、小中学校へのエアコン設置等予定しており、予算規模は本年度予算(80億円)をかなり上回る。引き続き、ソフト事業を加え編成したい。

### エアコン設置補助を

猛暑対策として、高齢者や低所得者に対するエアコン設置への補助を。

猛暑が続けば、検討しなければと思う。来年度はリフォーム補助事業の見直しの時期となるので、その中で検討する。

### 要望多い生活道路整備

住民から生活道路整備の要望が多いが、対応は。

毎年150件ほどの道路に関わる要望がある。職員対応や、区で偏りのないよう優先順位を決めて対応している。

Q 工業メッセで町事業所の出展状況は

A 町内から21社・団体39ブースの出展

河西 猛

Q 諏訪圏工業メッセで町の出展状況は。

A 町内から21社・団体、39ブースの出展があった。

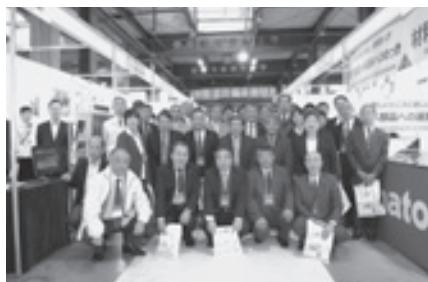
このうち、ものづくり支援センターしもすわが主管するブースには14社・団体、19ブースが出展した。

Q 今回の出展特徴とアピール、商談状況は。

A 受注獲得へのものづくり支援センターのホームページ内に、従来は紙媒体で発行していた『工業ガイドしもすわ』の特設ページを新設したことで、アクセス

Q 今回のメッセと町の景気状況について考えは。

A 海外関係も含めて、より一層成果が上がることを期待する。



諏訪圏工業メッセ2018  
しもすわストリート

若者の希望の実現を

Q 奨学金の利用状況は。

A 奨学金の一部免除制度は28年度以降の奨学生から適用。28年度は高校生2名、29年度は大学生3名、短大生1名、高校生1名の計5名。30年度は大学生2名、短大生1名、専門学生1名、高校生1名の計5名で、これまで12名が新制度の適用対象者になる。

Q 国は結婚するための活動(婚活)や新婚世帯へ支援している。町の状況は。

万円未満の新たな婚姻世帯に、家賃や引越し費用の一部を1世帯30万円支援している。29年度は2件の助成をした。

「結婚新生活支援住宅」は星が丘の旧労災リハビリテーションの職員宿舎を改修。家賃月3万5千円の入居費で4組が入居でき、2組が現在入居予定。

水道事業について

Q 水道施設の老朽化対策はどうか。

A 平成29年度末で水道管の法定耐用年数40年を超えているのは全体の45・8%で、10年間の設備の更新計画が定められている。配水管は埋設から30年以上経過している路線から着手する。

Q 水道管の耐震化は。

A 地震の際にも継目部分で離脱しにくい、近年開発された柔軟な素材「ダクタイル鉄管」や「配水ポリエチレン管」を使用し耐震化対策を図っている。

Q 災害時の広域連携は。近隣自治体とは、「緊

Q 空き家バンクと空き家実態調査は

A 来年3月末までに報告

田嶋 彰

Q 空き家バンクと空き家の実態調査は。

A 空き家情報バンクの利用希望者は11月現在、61人が登録している。本年度新規登録者は17人。取り扱い物件は計19件。週に3件程度の問い合わせがあり、内覧や所有者へつないだのが18件。賃貸や売買が成立した実績は8件。

実態調査は11月2日から現地調査を行い、所有者に意向アンケートをするなどして来年3月までに報告できるよう取りまとめている。

Q 2019年10月から保育料を無償化に

A 安心感のある保育に努める

中村光良

Q 3保育園の今年度歳出予算に対して保育料収入の割合は、どれくらいか。

A 予算額は3億8700万円。保育料収入は1億470万円、27%くらい。

Q 国や県からの保育園へ交付金や補助金は。

A 今年度予算での国庫負担金は844万円。県の負担金は892万円。

Q 保育園運営に係わる町の負担分はどれくらいか。

A 歳出予算から特定財源を除いた町の一般財源は、約2億5500万円。





Q 改良型の「さすまた」を  
配備する考えは

A 検証するなかで  
配備を検討

宮坂 徹

数も前年度同期と比べて大幅に伸びた。町内企業ブースでは3日間合計で、商談数が77案件、具体的な見積依頼の案件は18件。10月末現在の成約件数が1件。

Q 来年に向けた考えは。

A 来年2月に東京ビックサイトで開かれる日本最大級の工業展示会に共同出展が決定している。4月は中京地区の工業展示会があり、来年度メッセに向けてPRしながら対応を練っている。



結婚新生活支援住宅開所式

A 「下諏訪町結婚新生活支援事業補助金」による支援をしている。夫婦とも34歳以下で、世帯所得340

急時における6市町村の水道緊急連絡管に関する協定を締結。諏訪市境と岡谷市境に、口径100ミリのダクタイル鑄鉄管で連結、毎時16トン。社東町に100ミリ配水用ポリエチレン管を敷設し、毎時14トンが可能。



Q 空き家に関する相談、件数は。

A 11月末現在で空き家や空き地に関する相談は26件。一番多いのは立ち木や草の隣地への越境で13件。害虫駆除、不法投棄などが主な内容。うち22件が解決済み。空き家が増加する中、相談件数も増えると思うが、情報共有を進めながら対応する。

Q 国は2019年10月から保育料を無償化する方針。保育園運営への影響は。

A 10月からの半年分は国が負担するので、町の財政上大きな変動はないと思う。Q 2020年度以降の町の負担はどうなるのか。  
A 消費税増収の地方配分の方針もあり、保育園の負担割合を国と地方で協議を詰めている。町は安心して子どもを預けられる保育園運営に向け、努力していく。

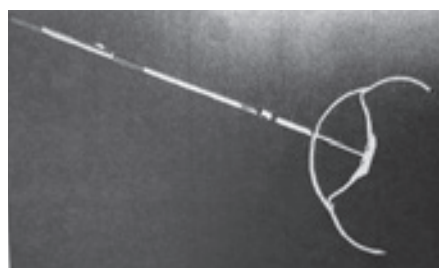
予算計上の考えは。

A 不審者対応は重要なこと。過日TVで放送を見た保育園には「さすまた」の配備はないが、これが有効か

### 「産後うつ」対策は

Q 国では、平成29年度から助成制度を始めたが、町では「産後うつ」対策についてはどのようにするか。

A 「産後うつ」のケアは大変重要なことだと考える。制度は来年4月から導入したい。病院の協力を得て制度を確立していきたい。「安心して生み育てる」まちづくりは重点目標でもある。



女性でも安易に扱える  
「改良型さすまた」

Q 過日の報道で、県教育委員会のまとめとして、通学路の防犯点検を行った学校のうち、98・7%が危険箇所があるとし、対策として防犯カメラの設置が必要としたのが71・9%とのこと。防犯カメラの設置については、文部科学省が全国の結果を集約してから、増設の支援策を打ち出す予定とのことだが、町の考えは。

A 防犯カメラの抑止力はかなり浸透してきている。必要な箇所については要望

しなければならぬ。通学路の合同点検で、見守りが困難な空白地帯を拾い出し、県教育委員会に望むと報告した。この度再調査を求められ、設置費や維持費、個人のプライバシー、管理運用などを含め検討中。

Q 現在配備されている「さすまた」は、不審者の侵入に対応が容易ではない。

改良型の「さすまた」は相手を補足することができ、女性でも容易に扱える。また、水難事故にも対応できるが、

Q 2市1町の合併の盛り上がりはどうか

A 簡単に感じることは難しい



岩村清司

Q 諏訪湖浄化の進め方とヒシの除去は

A 全面的除去は考えていない



中村奎司

Q 2市1町の合併に関しての世論は、過半数の賛成が得られているのではないかと。是非アンケート調査を実施して貰いたい。

A 実施する時期ではないと考える。行政がアンケートを実施する時は、情報をしっかりと伝える必要がある。当町の民意だけで合併を進められるものでない。

**自然エネルギー活用を**

Q 再生自然エネルギーを最大限に引き出し、自給自

足できる町を目指す。当町の太陽光発電の実態は、50Kw以上は2件、10Kw〜50Kwは103件、住宅用10Kw未満は568件。合計2417Kw発電している。

Q 諏訪湖の浄化は新たな対策をしなければ、現状維持がやっと。「大人はどうしてごみを捨てるの？危機感を持ちましょう」の子ども達の言葉に込める方策は、

A 「前より良くなっている」に甘えず、ごみの分析をして、有効な対策を県と共に進めたい。ヒシの全面的除去は考えていない。

**カヌー事業の今後は**

Q 7月にカヌー新艇の披露目と試乗会をやり、事



親子でも安心して楽しめる

業をスタートさせた。今後はどう進めていくのか。

Q 温泉熱を有効利用すべき。「ゆたん歩南源湯」の湯量と温度は。

A 毎分450ℓ、94度。

Q 温泉を使ったバイナリ発電は、毎分50ℓのお湯と同量の水を供給することでできる小規模発電装置。温泉熱発電は、買取価格も

A 観光商品としての可能性が見えた。マーケティングを重ねて事業化し、観光の活性化につなげたい。

40円と非常にお得。是非検討を。

A 全国的な実例を勉強しながら、研究を進めていきたい。



風力発電の立地に最適な三峯山

**諏訪湖の利活用は**

Q 湖周のジョギングロード・サイクリングロードの整備と活用の計画は。

A 2019年には十四瀬川から砥川、翌年には艇庫まで整備し、下諏訪側が整備される。諏訪湖あるいは諏訪湖畔の利活用というだけではなく、湖周全体の活性化や山岳観光につながるような、施策を打っていき

一般質問 その後

Q 当町には、三峰山という風力発電に最適な立地がある。山頂周辺は草原になっていて傾斜も少ないことから工事が容易に思える。稜線は500m以上あり、境界線が長和町と接しているので、長和町との共同事業化も考えられるのではないか。

A 立地等の検討も必要で不可能では無いが、ハードルが高い。

9月議会における一般質問で、保護者に養育をしてもらえない児童を、一時的に預かる事業の制度化を提案した。その結果、12月議会において「子育て支援短期入所事業実施要綱」として制定することが報告された。この制度により、生活環境の厳しい児童や保護者が、一時的にも安らぎが得られるようになることを期待すると共に、教育子ども課の迅速な行動に感謝し、敬意を表する次第。

Q オリパラ聖火リレー  
誘致を！



森 安夫

A 誘致活動を  
している

Q 第5次行政改革大綱の  
客観的評価は



青木利子

A 行政改革審議会が  
評価

**Q** 2020年の東京オリンピック聖火リレーを下諏訪町にも誘致を。  
**A** 県内は4月2・3日に行われる予定。町では、ルート選定されることを希望し、県実行委員会に意向を伝えている。

**Q** 艇庫改修後の、鍊成の家や健康スポーツゾーンの最終的な姿に向けた今後の取り組みは。  
**A** 新艇庫の建設は来年7月着工、来年度末までに竣工予定。鍊成の家の改修は

**Q** 達成状況や進捗度は。  
**A** 行政大綱の具体的な取り組み62項目のうち、目標を達成した、あるいは計画に定めた内容を実施したのが35項目。目標を達成しなかったのが18項目、研究・検討中が9項目。昨年度の事務事業評価概要は186事業中、手法改善や拡充、コスト低減などの見直しが必要とされたのが41事業。

**Q** 適正な評価指標、客観的な評価になっているか。  
**A** 行政改革審議会からの意見や提言、毎年の定期監査にも評価結果を提出している。事務合理化委員会に投げかけ毎年見直しもしている。一時的な評価結果にならないよう職員全体で共有し、問題意識や改善意識を持って取り組んでいる。

**Q** 八島湿原の環境整備は  
**A** 前回の改修から17年が経過した。現在は簡易な補修をしながら、いたみの激しい箇所は一部通行止めになっている。今回の補正予算

**Q** 今後の方針は。  
**A** 大綱や事務事業は行政改革審議会に報告し、審議している。審議会は様々な分野で活躍している人や地域の実情に精通された人などの委員で組織され、外部



**Q** 八島湿原は雑木、灌木が増え景観を損ねているが、伐採除去はできないか。  
**A** 湿原は文化財に指定されており文化庁との事前協議が必要。灌木の伐採は県、関係市町、地権者等からなる霧ヶ峰自然環境保全協議会で広域的な取組の検討が必要になる。



雑木が気になる八島湿原

**Q** 審議会での意見は。  
**A** 前回の審議会では、各事業については理解を深めてもらった。今後各委員からの意見を取りまとめる。

各課の連携について

基本姿勢は。

**Q** 連携には色々な形があり、庁舎内ではセクトをなくした連携が多く見受けられる。色々なプロジェクトを作って各課から集まった職員で検討し、大きな成果が出ている。地域の皆さんとは協働のまちづくりを進めている。

# 意見がこのまちを変える！

## 議会報告会開催

11月2日(金)午後7時から、下諏訪総合文化センターにおいて、議会報告会を開きました。全体会での議長あいさつ、議員自己紹介、常任委員長報告を行った後、2つの分科会に分かれ意見交換を行いました。今回の分科会は、常任委員会毎に行いましたので、それぞれの概要をお伝えします。

### 町の活性化のために！

総務経済常任委員会分科会

町がここ数年力を入れて取り組んでいる「移住定住策」に関わっている移住コンシェルジュ 小口みゆきさんのお話をお聞きした後に、皆さんと意見交換しました。

### 下諏訪ファンの輪広がる

小口みゆきさんのお話

・町を気に入って県外から移住された方が、全国各地の友達を次々と町に呼んでくれ、4、5年で約200人が来町、下諏訪ファン増加中。  
・下諏訪での生活について具体的に

### 地域の居場所づくり

生活文教常任委員会分科会

地域で実際に仲間づくりをしているみなさんに、始めたきっかけ、参

知りたい人が増えており、病院、学校、お店など生活圏の案内をしている。

・町から連絡を受けて対応するケースの他、様々な分野の人を通じての紹介も増加。

・移住される方は、将来に対する不安を抱えている。友達関係を築き、それを取り除く活動が必要と感じている。

### 町の「宝」を

全国発信せよ

参加者の皆さんからの

ご意見

・「宝」がたくさんあるのに、それを上手く発信できていない。町のホームページの作り方を考えて欲しい。

### 四王蕎麦の会

平成4年公民館の学級活動からスタートし、会員は25人。6区の休耕田を利用し、そばを作って収穫し、そばを打ち、食べる会。入会は自由

・移住された方と、地元の人が仲良くなれることは、町の魅力では。  
・旅の楽しみの一つは、「お土産を買おうこと」。でも、お金を落とすしてもらい場所がない。特に春宮周辺にはお店がなく、道路環境も悪い。参道として整備してほしい。

・「婚活」について―「もっと大規模に行うべきでは」との意見と、「行政主催で、アットホームな町のやり方は素晴らしい」との意見も。



多数の意見が出された春宮周辺

ある中で、地域の交流会としてのどの会も魅力を感じる。

最後に議員から。今回報告頂いたのは3団体ですが、他にも活動され

# 「議会だより」 モニター制度スタート

より読みやすく、わかりやすい「議会だより」の作成をめざし、30代～70代まで12人(男女各6人)の方に、モニターをお願いすることになりました。

## Vol.21 「議会だより」 アンケート結果

Q1 議会だよりをお読みいただいていたか？

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 毎回読んでいた          | 5人 |
| 2. ときどき読んでいた        | 3人 |
| 3. あまり読まなかった        | 3人 |
| 4. 読まなかった           | 1人 |
| 5. 発行されていることを知らなかった | 0人 |

Q2 紙面の文字の大きさはどうですか？

- |           |     |
|-----------|-----|
| 1. 小さい    | 2人  |
| 2. ちょうどよい | 10人 |
| 3. 大きい    | 0人  |

Q3 興味関心をもってお読みいただけたページは？

- |             |     |
|-------------|-----|
| *一般質問       | 10人 |
| *議長のつばやき    | 9人  |
| *一目でわかる議決結果 | 8人  |
| *8月臨時議会     | 8人  |
| *好きです しもすわ  | 7人  |

Q4 つまらなかったページや記事

- |             |    |
|-------------|----|
| *一目でわかる議決結果 | 3人 |
|-------------|----|

Q5 思うことがあれば

- |              |    |
|--------------|----|
| *文字が多すぎる     | 6人 |
| *写真やイラストが少ない | 3人 |

Q6 掲載したほうが良いと思う記事は？

- |                 |  |
|-----------------|--|
| *移住者の声          |  |
| *一般質問の内容をもっと詳しく |  |

Q7 ご意見・要望がありましたら

- |                      |  |
|----------------------|--|
| *議員の皆様の活動を勉強させて頂きます  |  |
| *堅苦しい文書の冊子というイメージがある |  |

ご協力ありがとうございました。  
引き続き、ご協力をお願いします。



# あなたの

加者数と運営方法などを5分話して頂きました。その後、会場のみなさんと聞きたい事・感想などを意見交換しました。

## ワンコインクラブ 6区

月1回で参加は28人。2つに分かれて酔いどれクラブと、飲まない知識人の会。1回5百円の会費で、テーマは様々だが、年金、健康、孫、嫁、相続、就活など多岐にわたる。

## 湖畔町なかよしサロン

湖畔町は70代が主な世帯だが、最新しい世帯が移住してきて子どもが増えている。社協が湖畔の湯でサロンを開いたのがきっかけで、参加者が核となって会になった。

## 参加者の感想

- ・ 定年退職し1人になり情報もなくなり、認知症になってしまいかと心配になって、みんなの話しを聞くようになった。肩の凝らない会がいいと思った。
- ・ 参加して町には力のある人が大勢いる事を知って素晴らしいと思った。
- ・ いろいろな人と話ができてありがたい。参加者それぞれがパワーを出し合っていたらいい。
- ・ 私も上田出身。少子化など課題も



四王蕎麦の会  
夫婦そろっての会員もあり

ている団体は多くあります。地域の居場所づくりがさらに活発化することを期待します。

# 議会運営委員会視察報告

- ・タブレットでペーパーレス化.....蟹江町
- ・タブレットは自費購入.....田原市
- ・議会サポーター制度を導入.....岩倉市

議会運営委員会の行政視察は10月1日から3日まで愛知県蟹江町、田原市、岩倉市に伺い、「議会改革の取組」について視察してきました。

蟹江町は人口3万7千人、一般会計予算約100億円、議員定数14名。



愛知県蟹江町議場で記念写真

田原市は、人口6万3千人、一般会計予算294億円、議員定数は18人。議会のICT化への取組は、ICT化推進基本計画に沿って進められた。ICT化の目的は市民意見の収集、反映、市民への情報発信、議会の透明化、議会資料の共有化、議会内部の効率化であり、タブレットはあくまでもツール。グループウェアシステムと組み合わせることで、活用の幅が広がり、活用効果が高まった。事務局が会議資料を電子データ化し、グループウェアシステムに保存する。タブレットは各議員が自費で購入した。公費で購入し貸与すると、公的使用に限られるため不便。情報流出の心配については、議員に渡す情報で、住民に秘密となる情報はないから心配していない。が、取り扱いが必要な資料は紙で渡しているとの説明があった。

岩倉市は人口4万8千人、一般会計予算156億円で議員定数は15人。



岩倉市議員との懇談会、12人の議員に出席していただいた

23年3月議会で議会基本条例を制定した。議員全員で議会基本条例推進協議会を設置して議会改革に取り組んでいる。議員のなり手不足については、定数を26人から15人まで減らしており、これ以上は無理との考え。ふれあいトークと意見交換会を重視し住民の意見を吸い上げている。

政策提言は市長に29年度は2件提言した。ルールは固まっていないが、常任委員会でもとめ議会で審議し、全会一致で出す。

議会サポーターは、市民からの要望、提言、その他意見を広く聴取し、議会運営に反映させるため30年9月から実施。目標は100名。謝礼として三千円相当出している。

ICT化を推進し、ペーパーレス議会を図るため町議会に28年6月ICT化推進部会を立ち上げた。29年5月に議員にタブレットを貸与し、6月議会からペーパーとの併用、12月議会から完全ペーパーレス議会にした。タブレット導入費用は311万円、ランニングコストは年228万円。またケーブルテレビと提携し、町長の所信表明や、一般質問を生放映している。



“タブレットはあくまでもツール”と田原市

# 向陽高校生と大いに語る

- ・ 笑い声が絶えなかった 第2回「語るカフェ」
- ・ “30歳くらいには戻りたい”と 第3回懇談会



## 向陽高校文化祭「語るカフェ」

平成30年7月7日

今回は1学年の教室のとなりが会場であったため、生徒たちのクラス発表と共に、多くの生徒さんが来場してくれました。笑い声の絶えない楽しい会となりました。

2つのグループに分かれ、飲み物と駄菓子を用意したテーブルを囲み、ざっくばらんに語り合うことができました。

テーマは町への要望、将来について、学業が終わったら下諏訪町に戻って来たいか、好きな人のことなど。

## 第3回 向陽高校生との懇談会

平成30年11月22日

### 下諏訪町で経験したいこと

- ・ 下諏訪で暮らしたい。自然があつて、オリンピック・パラリンピックに向けて地元でできることに協力したい。
- ・ 下諏訪から一度離れて勉強したあと、自然が綺麗なので戻りたい。

### 下諏訪町の良いところ

- ・ 御柱祭では活気に溢れている。
- ・ 下諏訪はふるさと感があり、且過の湯など温泉では気軽に話ができる。
- ・ 歴史的な町並みを残すと人が来る。御柱祭までの間にイベントで常時楽しめる町にして欲しい。
- ・ 水が美味しくてきれい。

### 10年後の未来について

- ・ 夢は祭道具のデザイナー。
- ・ 赤砂のグラウンドで運動ができて、小さな子が喜ぶので30歳くらいに戻りたい。
- ・ 町外へ行き海外を目指す。
- ・ 御柱祭には帰ってきて、海外に御柱祭を伝えたい。
- ・ 中学の時職業体験で保育園、工業、スーパーのレジなどを体験したが、将来の仕事を見つげるため高校でも体験したい。

### 町議会議員との懇談会を終えて

- ・ 議員さんはいつも町をよくしたいと考えていると感じた。
- ・ 直接議員に意見を言える機会がないので、継続して欲しい。
- ・ 将来は公務員や議員もやってみたくて思った。



## 議長のつづやき



### 多様な議員が必要

議長 林 元夫

現在の議員報酬について、全国的な統計値で約60%の町村議員は圧倒的に低いと感じています。逆に議員報酬が高いと感じている住民が多い結果も報告されています。議会は議員資質の向上や議会活動の情報公開を積極的に進めています。議員活動がどれだけ住民に評価されていないか、ということに他なりません。

さて議会活動において若い世代の考え方を吸収できる環境は、これからの時代には必要不可欠です。今の議員報酬や制度では若年層の議員は生まれません。議会活動が行政のチェック機能だけでなく、将来像・理想像を鑑みた政策提言を行っていく上には、多様な人材と考え方が必要なのです。もちろん報酬だけの問題で

はありません。しかしながら住民の皆さんにも重要な課題だと理解していただければと思います。

町では、平成16年に議員報酬は10%カットされ、また定数も減り今日に至っています。議員年金もなくなり、広域・事務組合議会も4つになり、負担も増え続けています。このようなことから議員報酬を少しでも上げていくことが若年層の取込みや議員のなり手不足に対する一助になると考え、議会の総意で報酬審議会の開催をお願いしました。しかしながら答申は「据え置き」です。残念です。

課題がある中で、今年には町議会選挙が行われます。多様な人が立候補し、選挙になることを願ってやみません。

## 表紙写真



昨年12月16日、下諏訪町議会主催、下諏訪町・下諏訪町教育委員会共催で「伊東豊雄先生と君の夢を語ろう」を開催しました。

伊東先生が町民特別栄誉賞を受賞されたおり、先生とのお話の中で、「子ども達と話してみたい」とのご提案から実現した企画でした。

先生からのレクチャー、生徒との語り合いは大変楽しい時間でした。詳細は次号でご報告いたします。

## 好きです しもすわ

### 「素敵な街には素敵な人」



島田 未来

この度ホシスメバに入居した島田未来です。10月に地元、横須賀市より参りました。日本の屋根アルプス、八ヶ岳を眺めて暮らすのが憧れでした。その憧れを思い出し、軽自動

車に少しの着替えとギター1本を積んで地元を離れました。そして、下諏訪と、そこで暮らす人、その人達が思いを込めて作り上げた『ホシスメバ』に出会いました。

下諏訪では、職も住居も未定の私に多くの方が声をかけて下さいました。マサヤゲストハウスの方、地域おこし協力隊、挙げるとキリがありませんが、有難い経験でした。

「素敵な街には素敵な音楽があり、素敵な人が居る。」過去に様々な街で感じた事です。下諏訪でも同じ感覚を覚えました。

現在はホシスメバで珈琲豆の焙煎をしておりますので、是非お越しください。

未熟な私ですが、これから宜しくお願ひします。皆様の大好きな下諏訪を私にも見せて下さい。

## 編集後記



新年あけましておめでとうございます。

議会改革の一環として「議会だよりモニター」を委嘱して、紙面づくりに資することにしました。

今号に21号についてのアンケート結果を掲載しました。半数の方が「文字が多い」とのご意見。お伝えしたい思いと、いかに目を引き付けるかの狭間で、葛藤しています。今年も読みやすい紙面づくりに邁進!! (T・M)

- 広報特別委員会
- 委員長 宮坂 徹
  - 委員 金井敬子
  - 委員 森 安夫
  - 委員 青木利子
  - 委員 中村奎司
  - 委員 岩村清司